

働く場における男女共同参画推進のための 環境整備の取組について

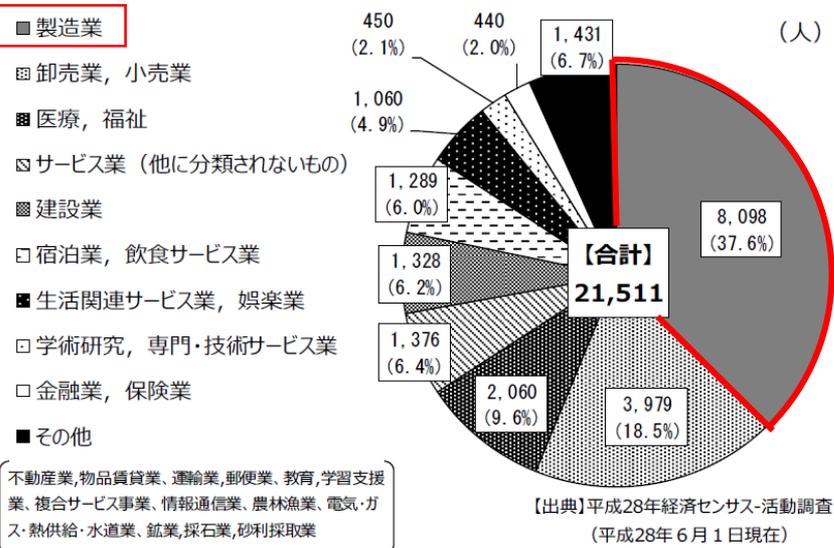
令和2年12月17日

産業振興部

1. 産業面における岡谷市の特徴

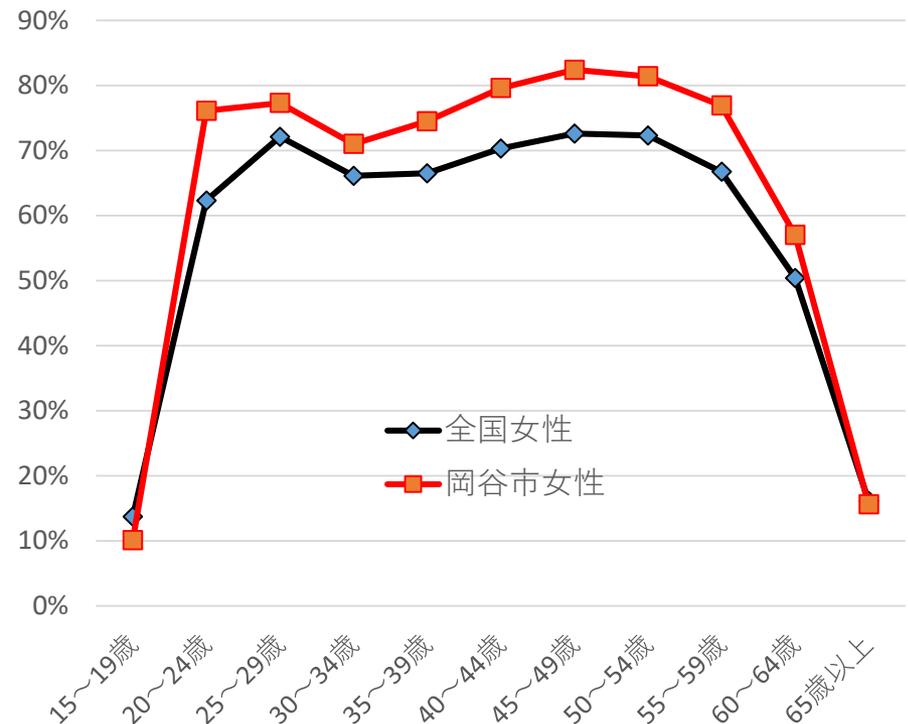
- 岡谷市の産業別従業者数をみると、製造業に従事する割合が一番大きい。
- 岡谷市の女性の就労割合は、全国平均（女性）に比べて高い。

産業別就業者数（割合）



(出典) 平成28年経済センサス活動調査

年齢階級別労働力率



(出典) 平成27年国勢調査

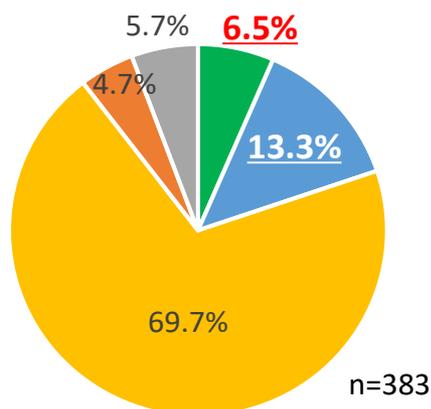
2. 市内製造業におけるテレワークの実施状況

- 今年7～8月にかけて、市内製造業522社（個人事業主を含む）に対し緊急アンケートを実施。
- テレワークは、約2割の事業者が実施。中小企業だけで見ると約4割が実施。

テレワーク実施割合

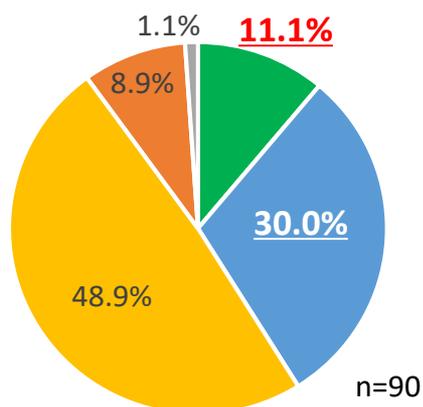
【全体】

- 以前より実施していた
- 新たに実施した
- していない
- 検討している
- 空欄・不明



【中小企業】

- 以前より実施していた
- 新たに実施した
- していない
- 検討している
- 空欄・不明

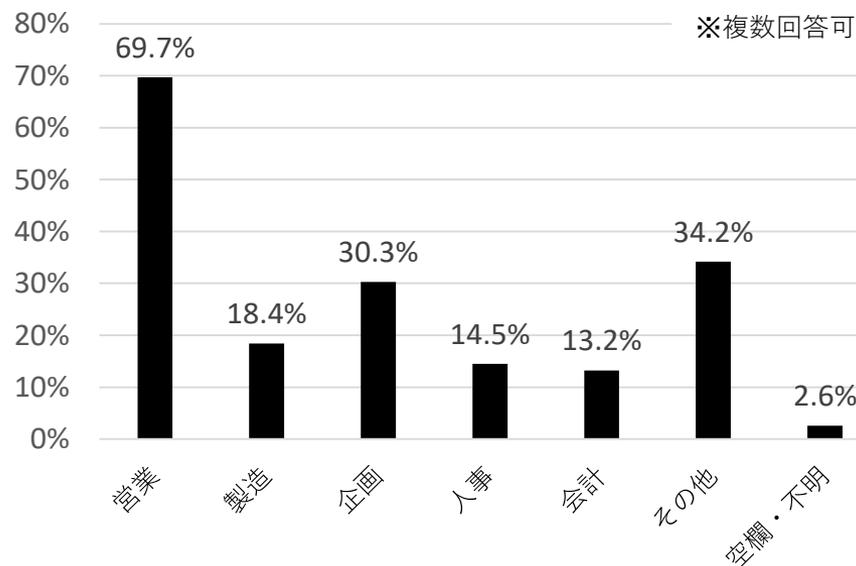


新型コロナウイルス感染症に係る緊急アンケート

◆回答数383社（回答率73.4%）

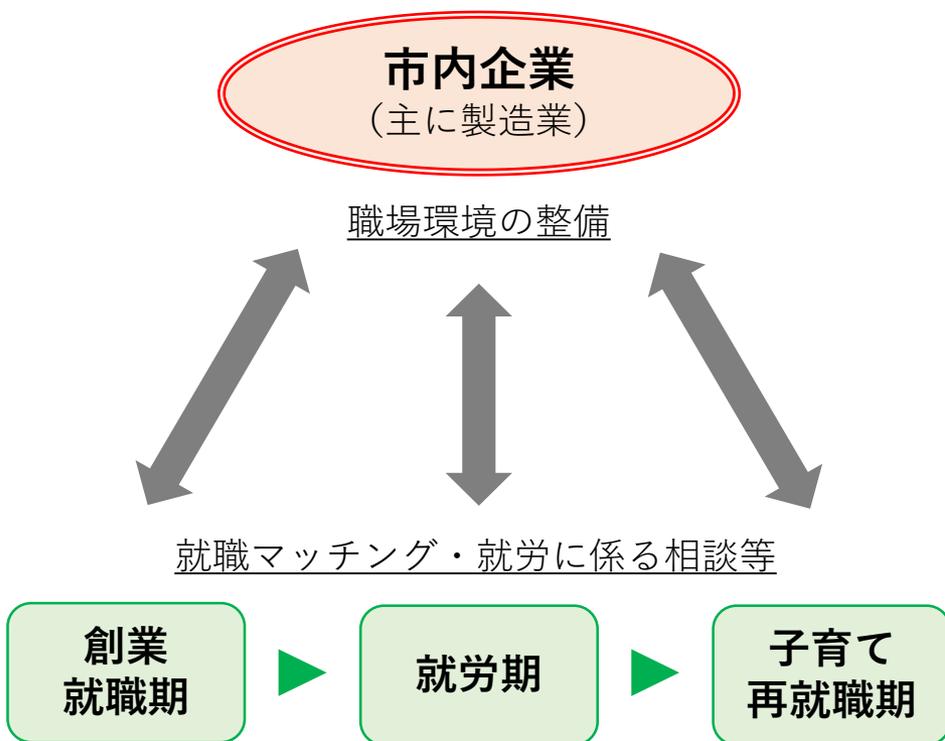
- ・ 小規模企業者（従業員20人以下）：286社
※5人以下：187社、6～20人以下：99社
- ・ 中小企業者（従業員300人以下）：90社
- ・ 空欄：7社

【テレワークで実施した業務（全体）】



3. 工業振興課におけるこれまでの取組

- 市では、市内企業の職場環境整備を積極的に支援。
- また、関係機関とも連携し、女性の就労に係る各種相談・説明会等を開催。



【市内企業向け支援】

- 女性雇用促進就業環境整備支援補助
- IoT導入補助金
- IT導入補助金（国）
- 働き方改革推進支援助成金（国）

など

【女性向け就労支援】

- 女性限定の就職説明会
- 女性の再就職応援セミナー
- 県の女性就業支援事業との連携
 - ・ 出張ジョブカフェ
 - ・ 巡回労働相談

など

4. 就労環境等に関する相談（現場の声）

- 県の女性就労促進事業を受託している就業支援員（諏訪エリア担当）によると、企業担当者・求職者問わず、引き続き様々な相談が寄せられている状況。

● 企業担当者の悩み・相談

- ✓ 総務担当としては、制度の活用促進を図りたいが、社内（現場）において利用する習慣が無く、実績につながらない。
- ✓ 現場において昔ながらの風土が根強く、新たな取り組みを受け入れてもらえない（制度を利用する人に対して職場内で理解を得られない）。
- ✓ 男性の自尊心や収入面で比較すると、男性の育休取得が進まない。

● 女性求職者の悩み・相談

- ✓ 女性の求職者（又は従業員）は、トイレや更衣室などの設備が清潔であるかどうかを重要視する。
- ✓ 再就職に当たり、「子育て」を取るか「収入」を取るか、選択できる余地（希望する就業時間や待遇）があると嬉しい。
- ✓ 育休からの職場復帰に不安を感じる（以前の様な働き方が出来るか）。
- ✓ 育休から職場復帰したら、待遇が正規からパート扱いに変えられた。

5. 国や県の動向

- 現在、国においては、女性を含む多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することでイノベーションを生み出し、価値創造につなげていく「ダイバーシティ経営」を推奨。
- この他、「くるみん認定」「えるぼし認定」「社員の子育て応援宣言」等、女性が能力を発揮しやすい職場環境整備や、仕事・子育ての両立支援を行う企業を認定する制度が国・県で推進中。

<p>【ダイバーシティ経営企業100選】</p> 	<p>—</p>
<p>【くるみん認定】</p> 	<p>市内1社</p>
<p>【えるぼし認定】</p> 	<p>市内0社</p>

<p>【職場子育て応援宣言】</p> 	<p>市内30社</p>
<p>【職場いきいきアドバンスカンパニー】</p> 	<p>市内1社</p>

6. 経済産業省における取組事例

- 経済産業省では、「男の産休・育休」の取得を強く推奨。
- 対象となる全男性職員の、5日以上の育休等取得（100%）を目指している。

➤ 「まず産休を取得することが、今後の育児参加の基礎となる」

- ・ 配偶者出産休暇（特別休暇）
➔ 妻の入院等の日から出産後2週間までの間（2日の範囲内）
- ・ 育児参加休暇（特別休暇）
➔ 出産後8週間を経過する日までの間（5日の範囲内）
- ・ 育児休業
➔ 子が3歳に達するまで

➤ その他、「仕事と子育ての両立」に向け、テレワーク、フレックスタイム制等、柔軟な働き方も推奨されている。



7. 市内企業における特徴的な取組事例（1）

◆ 東洋技研株式会社：「テレワーク」への取組

【会社概要】

- ・ 端子台メーカー
※LED信号機に使われる端子台は国内シェア90%以上
- ・ 従業員数：235名（女性割合：40%）



→ 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発出されて以降、営業所を中心にテレワークを実施。

● テレワーク利用者の声

通勤不安がなく、家事や子どもの送迎など仕事と家庭の両立の上でも大変助かっている。（営業事務として受発注や経理業務を担当.女性社員）

● 総務／人事系の人々が、女性の就労環境で特にケアしている内容

パート社員を中心に、各家庭の状況に応じた希望の勤務条件で日々働くことができるよう対応し、働きやすい職場づくりに努めている。
（パート社員68名（うち女性60名））

7. 市内企業における特徴的な取組事例（2）

◆ 株式会社ダイヤ精機製作所：仕事と家庭の両立を応援

【会社概要】

- ・精密部品の設計・開発・製造販売等
- ・従業員数：167名（女性割合：19.2%）
- ・経産省が実施する「地域未来牽引企業」に選定

➔ 社員の子育て応援宣言、職場いきいきアドバンスカンパニーを取得。

- ・有給休暇の取得促進（2019年平均10日以上取得）や短時間勤務制度の利用が図られ、働きやすい・休みやすい環境が浸透したため、リファラル採用※にもつながった。

※社員に友人や知人を紹介してもらう採用手法



DAIYA 株式会社 **ダイヤ精機製作所**

◆ 株式会社豊島屋：仕事と家庭の両立を応援

【会社概要】

- ・清酒の醸造販売、石油製品の販売等
- ・従業員数：70名（女性割合：10%）

➔ くるみん認定、社員の子育て応援宣言を取得。

- ・育児や介護等で休暇を取ることへの社員の理解が深まり、子どものために休暇を取得する男性社員も増えた。



さらに皆さまと共に
株式会社 **豊島屋**

7. 市内企業における特徴的な取組事例（3）

◆ 信越ハーネス株式会社：女性活躍を推進

【会社概要】

- ・ 電線端末加工、ハーネス加工・組立
- ・ 従業員数：55名（女性割合：61.8%）
- ・ 加工製品上、力仕事より細かい作業が多く、女性に合った仕事・作業が多いこともあり、女性従業員が多い。



➔ 社員の子育て応援宣言を取得。子育て中の社員に優しい会社を目指す。

● 女性活躍が事業上に与える影響

男性社員には無い、“女性ならではの気付き”が会社をより一層活気付け、5S活動を通じて積極的に効率アップ、生産力強化へ結びついている。
（「5S実践塾おかや」において、H21年度から11年連続で最優秀賞を受賞）

● 女性従業員の声

経営者が女性なので働くお母さんに理解があることや、職場内でも“お互い様”の精神で優しく働きやすい環境です。また、製造業の中でも油を使わない業種であり、5S活動を通じて職場がきれいで気持ちが良い。

7. 市内企業における特徴的な取組事例（4）

◆ 株式会社スギムラ精工：子育てに配慮した就業時間等の導入

【会社概要】

- ・ 金属プレス加工及び金属プレス用金型の設計製作
- ・ 従業員数：74名（女性割合：54.1%）



➔ 女性パート社員に対して、希望に沿った就業時間を設定。育児短時間勤務制度を「3月末まで（年度末）」から「4月末」まで1ヶ月延長（令和2年9月見直し）。

● 女性活躍が事業上に与える影響

- ・ 女性社員は、設定した就業時間内で仕事を終わらせる意欲が高く、生産性の向上にもつながっており、今や女性社員なしでは回らない。
- ・ 子育てが一段落した後は、パート契約から正社員へ移行している。
- ・ 当初、役員はパート社員の就業時間に否定的であったが、働きぶりや成果を見るなかで現在は理解を示している。

● 従業員の子育て等を応援する環境整備への考え方

働きたい気持ちがあっても、子育てを優先すると就業時間の都合で働けない女性を多く見てきた経験から、受入環境を整えることで安定的な人材確保及び定着化につながっている。

7. 市内企業における特徴的な取組事例（5）

◆ 事務業務改善コンサルタント代表 うえむら智子氏

- ・ 岡谷市出身。市内製造業等で経理・生産管理担当として約30年間勤務
- ・ 退職後、ライフオーガナイザー®1級の資格を取得し、事務業務改善コンサルタントとして、平成30年10月に起業。
- ・ 起業に当たって、市の創業スクールや補助金制度を活用。



● 起業の経緯

- ・ 親の介護のため退職したが、家庭内の生活のみで、自分の存在価値を見失っていた。
- ・ 繰り返しの日々の中で、自身の経験を活用して世の中のために何かしたいと思い、事務業務改善コンサルタントとして起業。

● 女性活躍の推進に向けて

- ・ 家事、育児などを担いながらも非常に前向きに活躍している女性が多い。
- ・ 「活躍している女性起業家の生の声を聴く機会の提供」や、「時間的な制約・環境など考慮した柔軟な働き方の実現」などが、女性の活躍を推進すると感じている。

8. 社会経済活動の変化

- デジタル技術の発展等に伴い、社会経済活動にも大きな変化が生まれている。
- コロナ禍において全国で約3割以上がテレワークを経験。フリーランスも増加傾向（2015年：913万人→2020年：1,034万人）。
- ECプラットフォームの林立に伴い、ネット販売のハードルも低くなっている。

社会経済活動の変化

デジタル技術発展
働き方の多様化

現場（工場等）

- ・ 自動化
- ・ システム高度化
- ・ 自律的な最適化／相互協調
（ビックデータ・AI・IoT）

就労形態

- ・ テレワーク
- ・ フレックスタイム制
- ・ 転職、起業

新しい ビジネススタイル

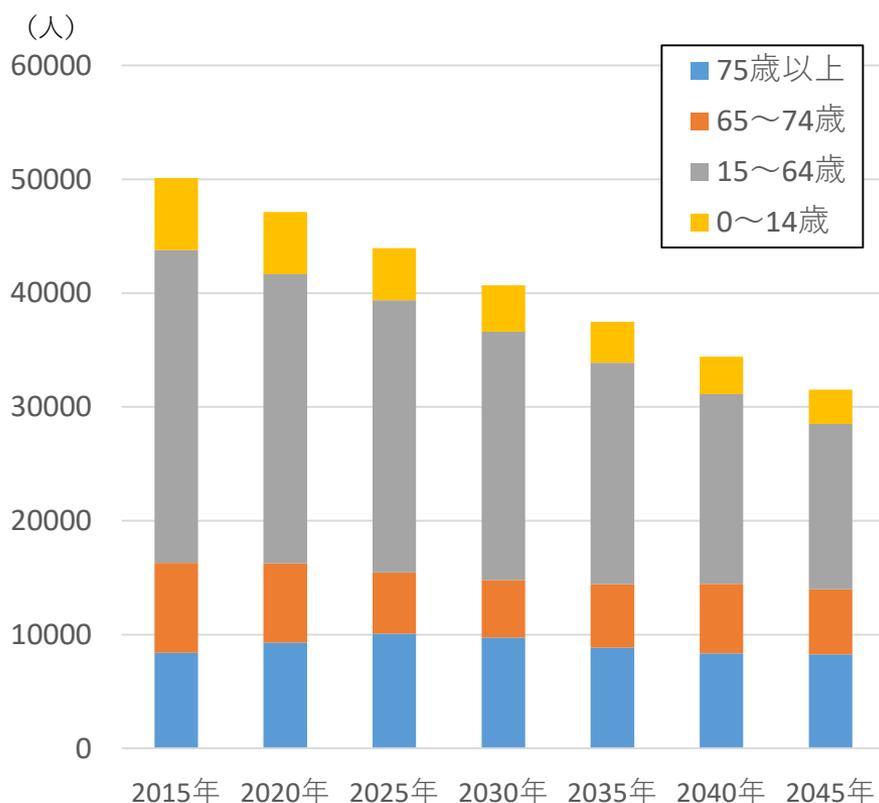
- ・ フリーランスの増加
- ・ Eコマースの充実
- ・ CtoCの普及

働き方の選択肢が増えている

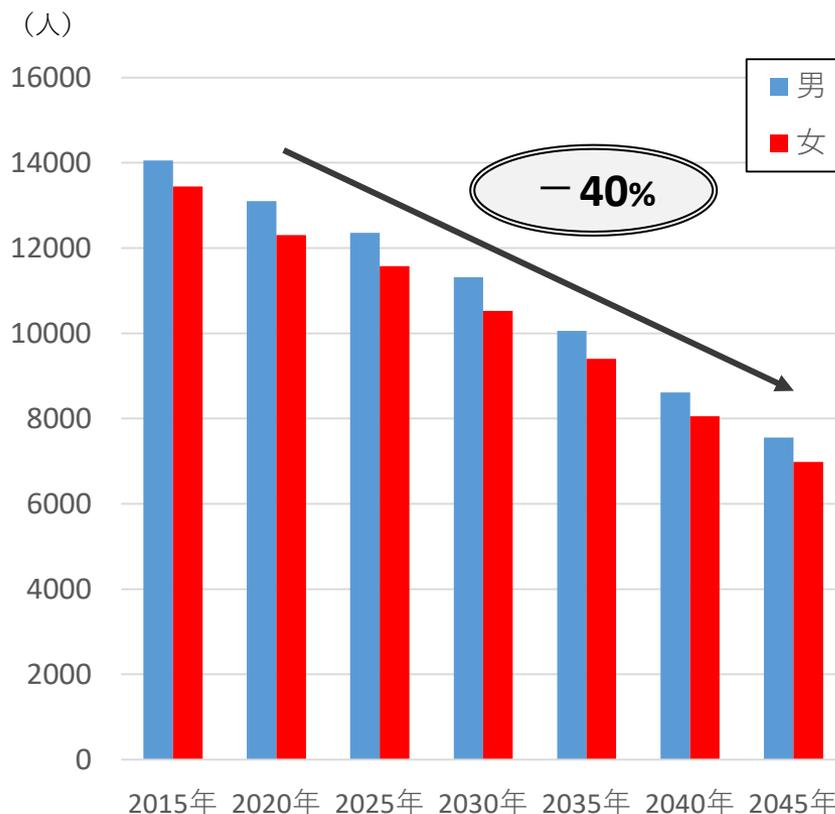
9. 岡谷市の将来推計人口

- 市の将来推計人口をみると、他に比べ生産年齢人口の減少幅が大きい。
- 生産年齢人口において、男女の割合に大きな差はないが、今後20年間で約4割の減少が見込まれている。

市・年齢階級別 将来推計人口



市・性別 将来推計生産年齢人口



(出典) 『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』

10. 工業振興課における今後の取組

- テクノプラザおかやの機能強化に着手。新たにコワーキングスペースを創設。
- 創業希望者をはじめ、多くの方が容易に起業・就労できる環境を整備することで、“働きやすい”の実現を目指す。

